

ジャロック 物流機器展示場をリニューアル

「ジャロックテクニカルトレーニングセンター(JTTC)」



ジャロックの商品を見学・体験ができる物流機器専門展示体感ベース「ジャロックテクニカルトレーニングセンター(JTTC)」

「ハイピックランナー」 「シャトルランナー」 「キャリアサイクル」

次世代AGV ソリューション の展示も予定

多種多様な製品をラインアップ

(株)ジャロック(東京都中野区、齊藤力丸代表取締役社長)は10月7日、埼玉県北葛飾郡杉戸町の物流機器専門展示体感ベース「ジャロックテクニカルトレーニングセンター(JTTC)」を大規模改装し、リニューアルオープンしたと発表し、その効果として体感温度を奪う効果で体感温度を下げると発表し、人が下げる「メントミスト」同社ではまた、最先端のAIロボティクス企業「MaIu Inno」の概要を公開した。また、最先端のAIロボティクス企業「MaIu Inno」の概要を公開した。また、最先端のAIロボティクス企業「MaIu Inno」の概要を公開した。

「ハイピックランナー」は、ハイピックランナーや、倉庫内を効率的に移動させるシャトルランナー(自走式台車ロボット)が自走する次世代AGVソリューションの展示を10月25日より予定。さらに「キャリアサイクル」を、超微粒子のミストを噴霧し蒸発時の気化熱を奪う効果で体感温度を下げると発表し、人が下げる「メントミスト」同社ではまた、最先端のAIロボティクス企業「MaIu Inno」の概要を公開した。また、最先端のAIロボティクス企業「MaIu Inno」の概要を公開した。

▽所在地：埼玉県北葛飾郡杉戸町堤根3-4-75
▽施設面積：400平方メートル(約10坪)
▽営業時間：平日午前10時30分～午後4時、休業日：土日祝日、見学は完全予約制(予約電話番号0207033810)

▽展示商品：シャトルランナー、ハイピックランナー、キャリアサイクル、リポリューションファン、ミストファン、リフト&ドライブ、アイドックレバート、アイカート、キャリアランナー、アシスト台車、セーフティシールド、ハイスピードドア、中高層中置ラック、アンカレストラック、ドックロックなど。

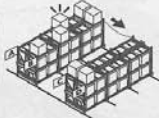
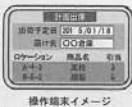
高効率収納の電動式移動ラック 在庫・ロケーション一元管理システムで 入出庫作業の効率が大幅アップ!

電動式移動パレットラック「タナコン」に連動する在庫管理システム **スマートタナコン**



タナコンIII + ICT = スマートタナコン

電動式移動ラック・タナコンに在庫管理システムを組み合わせたスマートタナコンは現場での無駄なアクションやミスを軽減し、生産性を高めます。



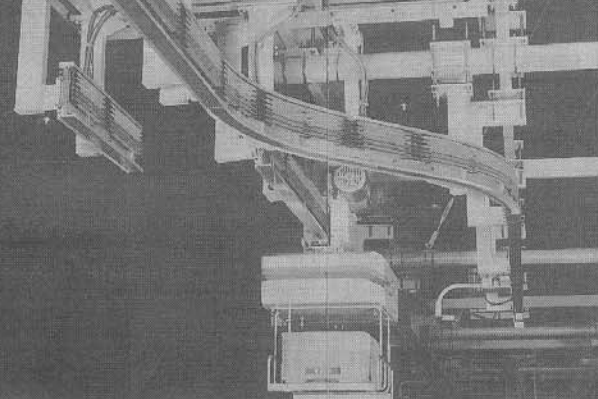
新提案
まさかの停電!
でもご安心ください。
運用停止させません。

非常用電源供給装置 **タナコンKEEP**

在庫管理が簡単
入出庫作業を行いながら
在庫情報の登録が可能

21世紀のなまハトナーに ICT Group

IT CARRY



天井空間を静かにクリーンにしかも高速で自由自在に走行する「ITキャリー」
物流ニーズを集約した無人搬送システムです。

- 営業品目
 - ライトベヤー(L-3、L-5)
 - ローラーコンベヤ
 - スラットコンベヤ
 - スラフター
 - マンスタックス
 - 解袋機

物流機械新聞

10月25日
2019年(令和元年)
第1492号

◎発行所 株式会社物流機械新聞社 発行人 田尾 操

おかげ様で創刊55周年。これからも皆様のお役に立てる情報をお届けしてまいります

本社 〒101-0048 東京都千代田区神田町2-17-15 シンカイビル2階

電話(03)3291-1121(代)・FAX(03)3291-1122

butsuryu@press-asagami.jp

あらゆるニーズに高品質、低コスト、短納期で必ずお応え致します

すべてのニーズに対し自社でマネージメント致します。お気軽にご相談下さい。

6つのトータルコーディネート

1.調べる 2.考える 3.提案する 4.作る 5.工務する 6.見守る

丸和工業株式会社

http://www.maruwa-kogyo.com/

本社 TEL(06)6789-4032 FAX(06)6789-4038

大阪営業所 TEL(072)361-8111 FAX(072)361-1116

東京営業所 TEL(03)3651-2211 FAX(03)3651-2011

名古屋営業所 TEL(03)3605-3600 FAX(03)3605-7800

名古屋営業所 TEL(052)269-8253

55年間の読者のご愛顧に感謝

「社会の公器」として今後も業界の発展に貢献

小紙「物流機械新聞」は読者の皆様をはじめ、物流機械・機器 システムのハードからソフト、流通等に携わる方々のご支援により本年創刊55周年を迎えることになりました。1964年(昭和39年)「運輸工業新聞」として産声を上げて以来、「物流機械新聞」の55年間は一貫して物流機器業界と歩み寄りをしてきた歴史であったといえる。その間、業界唯一の専門ジャーナリストの立場から先着性の高い、価値ある情報提供に心がけてきた。いま業界は改革を通じて新たな成長発展の道筋を歩んでいる。物流の合理化は経営を左右するほどの重要性を占めており、企業にとって物流の効率化は必要不可欠であり避けて通れないものとなっている。これを支えるのが物流機器メーカーであり、市場は国内を問わず海外市場を含め規模を世界に転じられるところになり、強い競争力と高い付加価値を生むモノづくりにより一層の発展が望める。このような激動の時代こそ本紙の真価が発揮できるものと自負しており、お役に立てていきたいと願っている。「物流機械新聞」は創刊55周年を機に、今後とも時代の変化を先取りする専門情報紙として努力していかんとともに、社会の公器として業界の発展に貢献したいと念願している。

創刊55周年を迎えて

新元号下で、経済産業省が公表している「製造業白書(ものづくり白書)」の初め報告されたものによれば、我が国の経済成長の中で製造業が果たしてきた役割は一貫して大きく、明治期には新元号下で、経済産業省が公表している「製造業白書(ものづくり白書)」の初め報告されたものによれば、我が国の経済成長の中で製造業が果たしてきた役割は一貫して大きく、明治期には

変革の時代に問われる企業の競争力

繊維産業が経済の基盤作りが大きき貢献したほか、第二次世界大戦後は造船、鉄鋼、電気機械、自動車など様々な製造業が次々と成長し、我が国の経済発展を支えてきたといえる。戦後50年という節目に、数百年という単位で世界の歴史を振り返ると、物流機器業界のモデルを競う時代の到来だ。機器単体ではなくサービスとして売

創刊55周年記念特集号

本日32ページ	
2~3	面 提言「変革への挑戦が市場を動かす」
4	面 物流機械新聞社55年の歩み
5	面 「インタビュー」水野陽二郎・豊田自動織機取締役・経営役員
8~9	面 この製品・商品(IHI物流産業システム、京町産業車輛ほか)ジャロックが「物流機器展示場をリニューアル」
11	面 2019年グッドデザイン賞(花岡車輛、豊田自動織機)
12~13	面 近づく「第1回関西物流展」建設荷役車両安全技術協会
19	面 11月「特定自主検査強靱月間」
29	面 「インタビュー」大和田能史・トヨーカネツ取締役常務執行役員
31	面

超重量用双輪キャスター TSYシリーズ



NEW

高荷重対応かつ優れた始動・旋回性
最大許容荷重1000kg!

東海キャスター株式会社

NICHYU 物流システム

レーザーで物流を変える

NEW! レーザー誘導方式無人フォークリフト RACK FORK AUTO

AGF Automated Guided Forklift が変える

床面工事不要 簡単レイアウト変更